京城日報
朝刊　本日朝夕刊共六頁

荒鷲魂の權化吉岡・本多兩飛行部隊
武功拔群、上聞に達す
個人感狀は山本中尉

【東京電話】ビルマ方面の航空擊滅戰に偉功を樹てた吉岡飛行部隊山本金吉中尉、吉岡飛行部隊および本多飛行部隊に對してはさきにビルマ方面陸軍航空部隊最高指揮官からそれ〴〵感狀が授與されたが今回畏くも上聞に達した旨二日陸軍省から發表された　個人感狀に輝く山本金吉中尉は　ミンガラドン飛行場の敵中に突入壯烈な自爆を遂げたが傷ついてなほ撓まず斃れてのち已んだ勇猛なる戰鬪ぶりは敵の心膽を寒からしめた荒鷲魂の權化であり、吉岡飛行部隊はビルマ航空擊滅戰に當初より參加、開戰以來敵機の擊墜破實に百十餘機におよび拔群の荒鷲部隊、また本多飛行部隊は比島攻略に多大の戰果をあげてのち桊、ビルマに轉戰、航空擊滅戰に要地攻擊に各種搜索に活躍した比島およびビルマの作戰全局に多大の貢獻をなした勇猛部隊である【寫眞＝個人感狀に輝く山本中尉（上）及び本多部隊長】

陸軍省發表（十月二日午後四時）航空作戰に武功拔群なりし陸軍中尉山本金吉および吉岡飛行部隊ならびに比島、緬甸の緬甸航空作戰に偉勳を樹てたる本多飛行部隊に對し曩に緬甸方面陸軍航空部隊最高指揮官より夫々感狀を授與せられしが、今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

吉岡飛行部隊陸軍中尉　山本金吉

右は昭和十七年一月二十八日ラングーン飛行場群攻擊に際し編隊長として之に參加し、ラングーン附近上空において優勢なる敵戰鬪機群と交戰するや進んで難に赴き、身を挺して奮戰し幾度か危く中隊長の危急を救援せり
然して乘機敵彈をうけて空中戰鬪ほとんど不能に陷るや、剛毅不屈なる中尉は黑煙を曳きつつも敢然單機低くミンガラドン飛行場に突進し、熾烈なる地上銃砲火を冒し在地敵機を索めて反復銃擊を加ふること實に七回、敵爆擊機三機を炎上せしむ、すでにして彈丸盡き機も亦遂に火を發するに及び、從容機とゝもに身を敵中に突入して壯烈なる自爆を遂げたり、中尉の不屈不撓戰れて尙已まざる氣魄と鬪志とは實にわが陸軍戰鬪飛行隊精神の發露にしてその武功拔群なり
仍て茲に感狀を授與す
昭和十七年五月十日

緬甸方面陸軍航空部隊最高指揮官

感狀

吉岡飛行部隊

右は大東亞戰爭開始と共に長驅南部佛印に躍進せしが緬甸作戰となるやその當初より之に參加し爾來終始積極果敢克く勁敵を擊破し航空擊滅戰に至大の貢獻を致すとともに、各種の重要任務に服して常に赫々の戰果を擧げ開戰以來その敵機を確實に擊墜破せるもの實に百十餘機にのぼり、緬甸作戰全局に寄與せるところ甚大にしてその武功拔群なり
仍て茲に感狀を授與す
昭和十七年六月十五日

緬甸方面陸軍航空部隊最高指揮官

感狀

本多飛行部隊

右は比島作戰に參加し遠く海洋を越えて進攻し、開戰劈頭まづ克く先制急襲の功を收むると共に機を失せず基地を敵前に推進し適時その航空勢力の擡頭を破摧するとともに、地上兵團主力の上陸およびマニラ作戰に緊密に協力し又各種搜索に多大の戰果を擧げたり、ついで本年一月下旬泰および緬甸方面に轉戰するや、終始積極果敢航空擊滅戰に或は要地攻擊に或は地上兵團主力のラングーンおよびマンダレー作戰の協力に、將亦各種搜索に常に赫々たる戰果を擧げ比島作戰以來その戰果の主要なるもののみを以ても實に擊墜破敵機百三十、擊破する車輛類八百八十、船舶七十にのぼり比島および緬甸作戰全局に寄與せるところ甚大にしてその武功拔群なり
仍て茲に感狀を授與す
昭和十七年六月十五日

緬甸方面陸軍航空部隊最高指揮官

敵も軍隊葬の禮
壯烈、鬼神も哭く自爆
山本中尉の最期

個人感狀の榮に輝く山本金吉中尉の戰鬪經過はつぎの如し
十七年一月下旬、ラングーン附近における敵空軍はわが航空部隊の晝夜にわたる反復攻擊により相當の損害を蒙つたが、なほ印度、支那方面よりの補給に努め機を見て反攻の氣勢を示してゐた、一月廿八日午前の搜索によればミンガラドン飛行場の敵機は小型約四十機、大型約十機である、この日わがビルマ方面航空部隊の一部はこれに攻擊を加へたが山本中尉は編隊長として參加したのであつた、十三時五十五分からの第一次攻擊においては山本編隊はミンガラドン飛行場東北方十キロ、高度四千五百で敵戰鬪機二機と交戰する友軍を掩護した、十四時五分からの第二次攻擊においてはミンガラドン飛行場西北方五キロの上空のトマホーク一機を發見、中隊長編隊がこれに攻擊を加へたので山本中尉は僚機萩原准尉とともにこの掩護に任じ、後上方から急襲攻擊してきた他の一機を發見、機首を轉じて反擊し敵の攻擊を不能ならしめた
中隊長は敵機を追つて四千メートル附近の白雲層を突破したが、僚機および友軍編隊は逐次戰鬪に加入してきた敵機と奮鬪し、また雲層の妨害をうけて中隊長機は雲下に出た、山本中隊はこの中隊長機を求めて雲層を突破、苦鬪中の中隊長機を發見し山本中尉はただちに戰鬪に加入、中隊長の危機を救つたが、敵は逐次兵力を增加し數の優勢と火力の優越を恃み、執拗に迫つてくる、中尉は挺身中隊長を救け困難なる戰鬪をしてゐたが遂に行方不明となつた、その後吉岡部隊がビルマに進駐後俘虜の訊問や住民の言によつてつぎのやうな狀況が確認された
すなはち俘虜の言によれば一月廿八日彼我の戰鬪機が戰鬪してゐたが、そのうち日本戰鬪機一機が黑煙を曳きつつ低く飛行場上空に現はれるや約七回旋回しながら對地射擊を行つた、その攻擊は猛烈を極め格納庫にある英機を攻擊したもので警備の英兵が恐怖したほどである、日本機は飛行場にあつたブレンハイム戰鬪機三機を炎上せしめたが遂に火焰に包まれ飛行場に激突粉碎、自爆を遂げたのであつた、日本機操縦者は直ちに醫務室に運ばれ鄭重な處置ののち英將校のみ參加のもとにエドワード協會において軍隊葬をもつて葬送せられた、英空軍大隊長ワゾセン大佐は部下一同を集め口を極めて日本機操縦者の勇敢な行動を讚美したといふ、一月卅日發行のラングーンガゼツト紙も大體右と同樣の報道をなし山本中尉の行動を未だかつて見ざる勇敢なものとして激賞してゐる、ミンガラドン飛行場に壯烈な自爆を遂げた山本中尉の鬼神も避ける戰鬪魂は敵に對してもかゝる激しい感動を與へたのである

三勇士略歷

山本金吉中尉　三重縣一志郡八知村の出身、三重縣立中學校を經て東京陸軍幼年學校に學び昭和十五年陸軍航空士官學校を卒業、飛行部隊附となつた

吉岡洋少佐　宮崎縣東臼杵郡南方村の出身、陸士卒、所澤陸軍飛行學校教官、昭和十三年北支派遣軍部隊附、日本飛行學校服務航空總監部々員などを勤め飛行部隊長となる

本多三男大佐　長野縣下水内郡飯山町の出身、縣立長野中學卒、陸士、陸軍航空學校、陸大を卒業、大正十年シベリヤ派遣軍附、所澤陸軍飛行學校服務、航空本部部員、下志津陸軍飛行學校、步兵學校、明野陸軍飛行學校教官、陸大兵學教官、昭和十三年飛行部隊幕僚としてノモンハン事件に參加飛行部隊長、陸軍航空士官學校教官などを勤め、なほ同大佐は前支那派遣軍總司令部參謀副長本多政材中將の令弟である

勇猛、兩荒鷲部隊の戰鬪經過
擊墜破百十餘機
吉岡部隊

【東京電話】大東亞戰爭勃發とともに長驅南部佛印に躍進した吉岡飛行部隊はビルマ作戰開始せられるや直ちに友軍飛行部隊と緊密な連繫を保ちつゝ飯田兵團のシツタン河およびラングーン進攻作戰に協力、敵空軍に來襲の機を與へぬ果敢な攻擊を續行したが、なかんづく一月廿三、廿四兩日はわが爆擊隊と協同してラングーンに進攻敵トマホークと交戰してその十四機を擊墜、猛砲火を冒しつゝさらに對地攻擊を敢行、敵大型機四を炎上擊破し、同廿八、廿九兩日再びラングーンに進攻戰鬪は熾烈な狀況を呈したにもかゝはらず赫々たる戰果を擧げた、廿八日には同部隊山本金吉中尉は戰死、廿九日には勇猛ぶりを謳はれた少年航空兵二期出身の吉田左一准尉は激鬪の末不幸機關に敵彈をうけ歸還不能となるや最後の地上掃射を浴びせつゝ壯烈な自爆を遂げてゐる、
また二月六、七兩日にはラングーン死守の敵空軍を擊滅し少なる兵力をもつて敵機の擡頭を破摧するなど、六回にわたる攻擊において擊墜卅五、不確實八の戰果をあげさらに二月廿一、廿二の兩日はマグウエ飛行場攻擊に參加、一方地上作戰に直接協力増援中の敵裝甲車の大群を擊破、敵の反攻企圖を挫折せしめ、また退却中の敵自動車群、舟艇を攻擊して敵退路を遮斷するなど常に戰機に投じた攻擊を行つて適時適所に戰果を擴大したものは實に百十餘機に及びビルマ作戰全局に絕大な寄與をなした

車輛千餘を屠る
本多部隊

比島爆擊行　米英擊滅宣戰の大詔下るや堂々鵬翼を南海の大空に張つて比島に初の海洋爆擊行を敢行、よく敵の機先を制して急襲の功を收めたのは實に本多陸軍大佐の率ゐる戰爆連合の飛行部隊であつた、同部隊は爾來惡天候を冒して反復出動、敵據點に徹底的爆擊を與へて本間兵團の敵前上陸を掩護し、同兵團の一部上陸に成功するや、機を失せず基地を敵前數キロの地ツゲガラオに推進し、地上兵團主力の上陸作戰に緊密に協力した、上陸に成功した本間兵團主力が敵を急追してマニラに轉戰の途中、本多飛行部隊は堂々敵空軍の擡頭を制壓しつゝ先進、小癪にも反擊を試みる米國戰鬪機群を勇猛果敢に攻擊し、或は敵陸上部隊の所在を搜索するなど味方地上部隊と緊密一體の作戰を展開して、比島攻略作戰に不滅の功績を打樹てた、開戰以來一ケ月間に記錄した本多部隊の戰果は實に飛行機擊墜破約二十機、舟艇擊破約四十隻に上つたのである
ビルマ航空擊滅戰　比島に赫々の殊勳を樹てた本多飛行部隊は息つく遑もなく皇軍のビルマ作戰に參加、ビルマ航空擊滅戰に劈頭の一擊を加へた一月廿六日敵空軍の最大據點ミンガラドン飛行場に對する夜間爆擊を最初として二月上旬にかけてミンガラドン、レグーの兩ラングーン飛行場に四回の夜間攻擊を行ひ更に翌廿一日には全部隊印度洋に臨むパセイン南飛行場および埠頭を急襲、敵大型機七機を炎上または擊破、埠頭および倉庫群に大打擊を與へ續いてさらに同廿五、廿六の兩日のラングーン航空擊滅戰には勇躍ミンガラドン飛行場を强襲、舞ひ上る敵戰鬪機の猛攻を排除して擊墜十七機、うち不確實五機、炎上または直擊六機、擊破廿一機、計四十四機を屠る一方、滑走路を爆擊して命中六、格納庫二棟を破壞するなど果敢な戰果を收めたが、廿六日夜には部隊の一部を派遣して壯絕なる夜襲を決行、ミンガラドン飛行場に潰滅的打擊を加へ、もつて飯田兵團地上部隊のラングーン攻略を容易ならしめた
ラングーン飛行場潰滅後、敵は……

大東亞地域の協力體制確立へ
青木國務相南京で語る

【南京二日同盟】青木國務大臣は二日午後二時總司令部に畑總司令官を訪問、南京離任の挨拶旁々關係幕僚とも懇談を行つたのち同四時大使官邸で記者團と會見、つぎのごとく語つた
大東亞戰爭完遂に對するわが政府、民間の決意は極めて鞏固である……中央協力會議でも在來の對立的批判的傾向は影を沒し難局打開についての眞摯な建設的意見が多かつた、汪主席にも今日會つたが『國民政府は大東亞戰爭に最善を盡して協力する、現在は同甘をいはずまづ共苦すること』によつて將來に希望を懷くものである』と力強く確言された、大東亞戰完遂のためには大東亞各地域の協力體制を完成することが目下喫緊の急務である、大東亞省の設置はこの協力體制實現のための手段であつて國民政府その他に對する外交方針に聊かも變更のないのはもとよりである

鎌倉丸出帆延期

【香港二日同盟】一日入港した鎌倉丸は都合により一兩日出帆を延期される模樣で、一般乘船者は三日午前中に上陸戰跡を視察する豫定

掃蕩戰大いに進む
空し敵の反攻企圖
支那派遣軍週間戰況

【南京二日同盟】支那派遣軍報道部發表＝戰況（二日發表）北支軍は九月廿七日拂曉より晉西地區黃河畔の共産第十八集團軍に對し活潑かつ大規模なる掃蕩戰を開始、廿八日までに敵屍、捕虜合してすでに三千以上の戰果を擧げ戰況はますます熾烈化しつゝある、また北支太行山脈に蟠居する晉察冀邊區衞擧發軍に對しては九月中旬より討伐中であつたが、廿九日敵の根據地阜平を完全に占領し、更に戰果を擴張中である、中支においては全華方面のわが軍がその前面における敵蠢動の機先を制して廿四日贛南に出擊し多大の戰果を收めてこれを混亂に陷らしめた、重慶軍は九月末を期して第五期の整訓を完了せんとし極力反攻準備に努め來つた模樣であるが、第一線敵軍の軍紀は近時ますます弛緩し、たとへば湯恩伯麾下の部隊の如き掠奪または强制徵用等によつて民衆怨嗟の的となり、部落内には日本軍進駐歡迎等の落書きへ見られるに至つたとのことである
英本國および西アジヤ方面から漸次增強した空軍をビルマ中部、奥地の諸飛行場に潜伏せしめてゲリラ的反擊を企圖してをり、敵空軍戰力培養の主要な目的となつたが、二月下旬本多部隊はビルマ中部マグウエ飛行場に敵約六十機を偵察發見……

淨闇を肅々・渡御の御列
昨夜、皇大神宮本殿遷御の御儀

【宇治山田電話】皇大神宮本殿遷御の御儀は勅使參向して二日夜神代ながらの淨闇裡に嚴かに執り行はせられた、この日御屋根の御修理なつてその淸々しくも神々しき……奉員まづ參進して御假殿中重の宿舍に入る、午後六時黑袍姿の勅使……祭主梨本宮殿下御參進、高倉大宮司以下神宮衞員百三十名の諸員は威儀を正して肅々と參進、玉串行事のゝち內院に參入、着版すれば勅使御階下に進んで御祭文を奏上、やがて奏樂裡に御扉は開かれ遷御の準備を進め奉る時、御本殿の御扉も開かれ渡御の御列正されるや瑞垣御門下にて高らかに鷄鳴三聲、勅使は出御を奏申してこゝに神儀は假殿を出御、絹垣のうちに進ませ給ふ、時に午後八時、神域の燈火悉く滅せられ一瞬太古の闇に還へるうちを渡御の御列は御先行の勅使が奉仕する鷄鳴につれて夜目にも白き純白の御道、敷布の上を靜々と御本殿へ兩儀の廊下を進ませられ、しはぶき一つだになきしじまに、ただ流れるは榊千歲の妙なる神樂歌、うち鳴る拍手、至殿の極みである、かくて神儀は御五ケ月ぶりに御本殿に還御あらせられ奏樂裡に御扉を閉ざし奉り勅使御祭文を奏上ののち諸員八度拜を行ひこの時儀仗隊『國の鎭め』を吹奏してこゝに嚴儀は滯りなく終へさせられた

尾形侍從を御差遣
仙臺陸軍諸學校の光榮

【仙台電話】陸軍諸學校の狀況視察のため畏くも御差遣の侍從武官尾形健中佐は二日午前六時五十分仙台驛着同九時卅分教育總監部本部長淸水中將、校長萩原少將らの出迎へをうけ仙台陸軍幼年學校に至り、校庭に整列した職員生徒總員に優渥なる聖旨を傳達、萩原校長より恭々しく奉答、貴賓室にて萩原校長より狀況報告をうけたのち校內を隈なく巡視、引續き一時間にわたつて學科、實科を視察、正午食堂で生徒と會食、さらに校長、教育部長、生徒監らと學校教育につき懇談を遂げ、同一時離校、同一時卅分より仙台陸軍教導學校を視察、同樣聖旨を傳達して同四時退校、同夜は針久別館に一泊、三日仙台驛發歸京する

聖上、畏くも御遙拜

【東京電話】畏くも　天皇陛下には神宮本殿遷御の重き御儀に際し親しく勅使掌典次長を參向せしめられたが御神威彌高く尊く仰ぎ奉る皇大神宮の御盛儀を、一億民草齊しく奉ぎ奉る二日夜　陛下には親しく神宮を御遙拜あらせられた、この夜　陛下には御潔齋ののち綾綺殿に御束帶黃櫨染御袍を召させられ三條掌典長御先導申しあげ侍從寶劍御璽を捧じて供奉しし づ〳〵と神嘉殿の南庭に下御御拜座に着かせ給ひ、神儀いよよ渡御あらせられ給ふ、神々しき御神事の御時刻午後八時蠶し御遙拜遊ばされた、嚴かなる御ひとときも長く畏くも　陛下には天機麗しく入御あらせられたと拜承する

社說　家庭食糧の軍隊食化

一
今日の日本の主婦として、心得ねばならぬことは多々あるが家庭を預る建前から、先づ食物の調理といふことも一つの分擔職域であることを考へ、あるものは何でも利用して最大の榮養效果を發揮すべく心せねばならぬ。殊に、このことを最も高度に實踐してゐるのが軍隊であることに鑑み、それ程も科學化され合理化されてゐる軍隊食の實際面をとり入れることも、一應檢討吟味すべき必要があるのではなからうか。

二
いふまでもなく軍隊の食物も一般家庭の食物も別に變りのあらう筈はないが、給養の目的が軍隊の場合においては體力の向上、健康の增進、戰鬪力の增强に置かれ、殊に現下の食糧事情を考慮する時には、最少の材料を以て最大の效果を收めねばならぬのであるから、自然徹底的なる給養の合理化、科學化が行はれてゐるのは當然である。極言すれば少しの無駄も出さずに少しの不足もないやうに戰一ぱい食べさせるのが軍隊食の仕組であつて、このことはまた一般家庭食においても適用され得べく、そして適用されなければならぬ建前でもあるといひ得るのである。卽ち總榮量の問題にしても、原則量のみを以て足れりとせず、一定の安全量が加へられ、その安全量としては、主として廢棄分乃至は調理の殘り屑が充てられてゐることは、特に一般家庭の主婦の心せねばならぬことであらう。

三
廢品更生とか無駄排除とかいふやうなことは、最近頻りに唱へられてゐることであるが、家庭における實際問題として眺めるとき、殊にそれが食糧に關する限り、一般には關心が甚だ薄いといふよりも、寧ろ意識的に廢棄分や調理の殘り屑を利用することを避ける嫌ひがある。これは以ての外のことであり、出來るだけそれ等を精選することによつて、例へばそのまゝ食べ、また時によつてはスープの如きものに加工して食べることも考案されて然るべきであらう。特に主食と副食との割合において軍隊では主食三、副食一となり榮養素の配合は蛋白質が總熱量の一四%、脂肪が六%、含水炭素が八〇%となつてゐることも恰好の資料となる筈である。

四
……

五
かくてそれと併行して各人各樣の嗜好、體質といふことも考へ、自分の體は自分で强靱にするやうに努めるため榮養知識の一般への普及は、簡便に戰時下の家庭人全般が心すべきことであり、特に朝鮮青年特別錬成令の公布された今日、半島人の生活を軍隊に接近せしめる意味からも、このことへの智識の徹底ならざるべきを痛感するものである。指導も要望せられるどころである。

朝鮮旱害義捐金募集

本年南鮮六道及び江原道北部に亘る旱害は相當激甚なるものあり、爲に農作物の被害亦甚大なる實情にあるので、社團法人朝鮮社會事業協會では關係官署、道社會事業協會及び國民總力朝鮮聯盟並に各新聞社の援助の下に全鮮より八十萬圓を目標として義捐金を募集することになつたが、本社でも右趣旨の極めて有意義なるに鑑み、罹災農民に心からなる同情の意を表すると共に右募集に協力、特に義捐金の受付を爲すこととした、大方諸彥の同情ある醵出を切に希望する次第である
昭和十七年十月二日
京城日報社

總督府辭令（卅日附）

（開城少年所長）本府典獄補　小貝削卯七
任本府典獄（六等）補開城少年刑務所長　本府看守長　岡田德市
任本府典獄補（七等）補大田刑務所淸州支所長　同　澁谷力
任本府典獄補（七等）補西大門刑務所春川支所長
本府京畿道加平郡南面長長谷川淸助、同咸北道會寧郡鳳邑長丸田進同忠南道燕岐郡鳥致院邑長丹下政之助、同咸北道明川郡東面長牧山農佳
奏任官を以て待遇せらる（各通）（司政局）本府事務官河村雅亮、（同）本府技師菊地新吉、（農林局）同岡崎爾雄、本府鐵道局副參事渡邊竹次郎、（南川稅務署）本府司稅官尾野俊規、（京城地方法院）本府檢事松岡益人、（釜山地方法院）同崔宗錫（大邱覆審法院）本府裁判所書記長佐原英生、（淸津）本府典獄森田久成、（平南）本府道理事官小林繁（京畿）同米田豐、（全北）同篠木英雄依願免本官（各通）

化學工業統制會長に石川一郎氏推薦

山本氏再選

けふ「軍人援護強化週間」第一日

軍國の秋、晴の表彰

名譽の家や傷痍軍人などを

百萬府民の熱誠を凝集して軍人援護會京城府分會ではけふから八日まで全國一齊に行はれる軍援護強化運動第一日三日午前十時三十分から府民館中講堂で三人以上應召者を出した家庭、模範遺族、模範傷痍軍人、應召軍人の家族などに對する表彰式を擧行する、當日の被表彰氏名次の通り

三人以上應召者を出した譽の家 新堂町三二ノ六大養藤四郎▲同三四〇瀧川一江▲同四一四ノ九馬場繼三郎▲東四軒町三八仁保經麿▲花園町一二二藤井醫治▲南山町二メ二一池尻タネ▲南大門通三メ二八木內倫太郎▲初音町三三岡部啓太郎▲明倫町一メ七古城憲治▲益善町一五四柏木源三郎▲苑西町一二〇佐々木信章▲西大門町二メ二深川龍藏▲同二メ

應召軍人の家族 永登浦町四二二ノ五中村ハル

模範遺族 ▲新設町三八〇管本里治▲太平通二メ三〇七向井卯一▲大島町二八大崎政喜▲瑞麟町母子寮平タマ▲三坂通五六柱基資▲孝悌町五一ノ一中田ミツエ▲大和町一メ一七永井新之助▲南山町三メ三一川井昌一

模範傷痍軍人の妻 ▲漢江通一六鐵道官舍二〇四坂田久代

軍人援護の篤行者 櫻井町二メ九八持田平吉方松井晴士郎▲大和町二メ三八中台ウメノ

昌慶苑に招待 府分會の催し

軍人援護會京城府分會ではけふ午後一時から昌慶苑に遺家族、傷痍軍人招待の講演映畫會を催すほか苑內見物や土產品を贈呈することになつてゐる

傷痍軍人 ▲長沙町八山本佐一郎▲黃金町二メ八五谷田部要次郎▲同六メ二三大西保太郎 五五文野米次▲弘濟町二〇七橋本タキ▲同同木村勘次郎▲蓬萊町四メ一三〇恩地ツル▲吉野町一メ一三二八壽生男▲青葉町一メ八九ノ六七號近藤保利▲三坂通二四四ノ一一藤井逸記▲練兵町三村田省吾▲漢江通二メ三六九有岡隆次▲普光町一六八殿村卯三郎▲永登浦町四四二松田濱右衞門▲岡崎町八四熊本國太郎▲青葉町一丁目一一松岡清也▲大和町一丁目四五中村太次郎▲本町五丁目一植谷喜代吉▲西四軒町一一四江口喜七郎

陸軍病院へ 演藝慰問行 京電の電車課員

京電々車課ではけふから行はれる『軍人援護強化運動』に呼應して龍山陸軍病院を訪れ、電車課社員並に車掌達からなるブラスバンド、舞踊、歌謠等の演藝慰問を行ふことになり目下同教習所講堂で稽古に大童となつてゐる

乙女ら純情の催し

女子師範、舞鶴高女の慰問計畫

けふから始まる『軍人援護強調週間』に學園の乙女達も〝軍人さんを慰問しませう〟といろ〳〵の慰問行事を次の通り計畫してゐる

▲舞鶴高女では三日午前九時から勅語奉讀式を擧行、同校生徒の父兄にして出征した遺家族を慰問するとともに同校近邊の遺家族には煙草やお菓子等の溫い慰問を行ふ、なほ上級生は若草町本願寺または龍山練兵場で勤勞奉仕を行ふ

▲京城女子師範學校では出征軍人に慰問袋を送るとともに『大和歌』のパンフレットを遺家族に配布して軍國の誇りを昂める

の全藝を披露する長唄『勸進帳』『二人道成寺』清元『津山の月』常磐津『夜討曾我』等の盛り澤山の番組で優しい慰問を行ふことになつた

授產所講習生 入所式行はる

二日午前十一時から黃金町六丁目軍人援護授產所で第十回講習生入所式を擧行、九十八名の新入生に對し田中京城府內務課長(副所長)の訓示あり技能報國を誓つて閉式した

藝能の贈物 本券の姐さん達

わたくし達女性の胸にも愛國の熱誠が燃えてゐます……と京城本券ではお國を守る兵隊さんへ感謝のしるしとして藝能で慰めることになり、恰も『軍事援護強化週間』第四日目の六日から二日間、府民館で『秋の溫習會』を開催、毎日午後一時から三時まで白衣勇士鵬に在城部隊勇士を招待、日本趣味

防空講習會

龍山署防護係では同署防護團幹部を動員して各愛國班長以上を集め、防空一般、防空警報、燈火管制、命令傳達、防空消防、救護に關して防護講習會を開催し防空精神の涵養と防空知識技能會得の徹底を圖ることになつた

二日第二高女午前九時、龍山國民學校午後一時(實科)▲三日淑明女專▲五日元町國民學校▲六日梨泰院學校▲七日養英學校▲八日龍江國保館▲十日阿峴國民學校(以上午前九時から講習午後一時から實科)

〝泥的にやらず貯金しよう〟

龍山署司法係から親心の注意

ちかごろ龍山署に續々としてあげられる窃盜犯の中で特に目立つことは現金窃盜の激增しつゝあることで、毎日二、三件は現金窃盜があり時局柄憂ふべき傾向を示してゐる

これは各家庭が不必要な多額の現金を所有してゐるためとも見られるが

同署司法係では、犯罪防止策の一つとして一般家庭においては不要な現金を所持せず適宜預金を勵行するやう切望してゐる

女子體錬大會日程

▲京城女子商業學校第六回體鍊大會は第三回女子初等學校對抗競技會をかねて來る四日弘濟町同校運動場で擧行、參加校廿三校▲同德高女の秋季體錬大會は來る十一日第九回初等學校女子陸上競技大會を兼ねて昌信町同校運動場で擧行初等女子對抗種目五十米、百米、四百米繼走、參加申込は三日まで同德女校宛

各團體

爽やかな秋空のもとに各團體の體鍊會が繰り込まれるが、日程は次の通り

▲三日 進明高女、淑花高女▲四日 京城食糧報國隊西大門隊(於恩平國民學校庭)

城南中

城南中學校では時下學徒の體位向上を目指し三日午前十時から同校々庭で秋季體鍊大會を開く

足どり輕く歩く府民群

『府民歩行運動大會』は數名の參加を得て爽涼の賑かに行はれました

僞京電社員 變な割金名目で詐欺

三坂通日婦の必勝貯蓄好績

慈濟院へ寄附

半島縮刷版

嬉しい野菜便り

江原道から舞込む

【春川】戰時下需要激增の一途を辿る蔬菜の增產は刻下の急務であるが、江原道當局ではこれに即應し多量生產へ愈よ本腰で乘出すことになつた、就中、平康郡は由來蔬菜類の產地として有名であり、蔬菜の野菜價値期でもミヤシゲ大根を百七、八十萬貫も京城に送り裏の食卓を潤した

即ち京城の野菜は殆ど平康郡が補給してゐるといつても過言でなく、毎年秋の漬物期には毎日數荷車を積出しその恩惠は大なるものがあるが、最近ではその販路が急激に擴まり、一層今後の增產が要望され道當局では目下與標準を考究中である、なほ本年は特にキヤベツを試作中であり、九月中旬からの切干大根

やホウレン草、春菊等の適作物を積極的に增產すべく企劃してゐる

神饌田の刈取式

【沙里院】黃海道延白郡靑年隊では今春朝鮮神宮年齡を代表して皇大神宮、明治神宮、靖國神社に奉納すべき神饌用を奉耕することになり、同隊長野村紀六氏以下十一名が奉耕者に選ばれ內田四畝、外田四畝の奉耕を續けて來たが、好天候に惠まれ豐饒の頭も重くなつたので、來る五日午前十一時から官民多數參列の下に刈取式を執り行ふことになつた

全邑面に神祠奉祭

【大田】忠南道では皆六十萬道民に根強き敬神思想を植付け征戰完遂により强力な精神的結束を促すべく本年度から十九年度にかけ三ケ年計畫で道內の邑面全部に亘り神社または神祠を洩れなく奉祭せしめることとなり、各郡守宛この經營方を示達した

鬱陵島にイカ景氣

【大邱】慶北の鬱陵島附近にはイカの大群の押寄せ、沿岸一帶は連日イカ景氣に賑つてゐるが、慶北道水產會では出漁船二百隻を繰出し漁撈に大童となり一日一隻の水揚げ高は平均二千尾といふ好況を示してゐる

柑橘類の大量植栽

【光州】全南近海の多島海は絕えず暖流の黑潮に洗はれる諸島の特異性をもつてゐるのに着目した道產業部ではかねて特用作物の適性を研究してゐるが、柑橘類のうちでも高級品に屬するネーブル、溫州蜜柑、ザボン等について技術員を本場の和歌山、鹿兒島、山口各縣に派遣して調査の結果、これ等全南の多島海は何れもい柑橘類の產地であることが實證されこの朗報に力を得た道當局ではその手始めに明春を期して濟州島と巨文島に大々的の植栽を行ふことに決定した

咸南の三水組認可

【咸興】一路增產を目指し咸南道ではかねて永興、新高山、利原の三大水利組合の新設を計畫してゐたが、このほど本府より正式認可近く着工することとなつた

永興水利は流域七千町歩、工費七百萬円、新高山水利は一千町歩、工費百萬円、利原水組は一千町歩の開發を目指してをり、三者合せて一年に十五萬石の增收が豫想されてゐる

日赤社員募集好績

【平壤】日赤平南道支部では本年度の社員募集目標一萬七百七十五名を達成すべく趣旨普及に努めた甲斐があつて、去月廿五日現在で郡青城面國民學校于五百名の會員豫定の五割五分たる五千二百廿二名に達し全鮮一の好成績を示してゐる

なほ各郡では目下募集に大童となつてゐるので遠からず豫定數を遙かに突破するものと見られてゐる

天主教會金屬供出

【全州】カトリツク全北天主教會では一日から實施される金屬回收強化にあたり道內十一ケ所の教會にある大吊鐘十一箇(真鍮製)を集め去る廿九日幹部一同は道廳を訪れこれが獻納方を申內で係員を感激させた

獨創的な海軍體操

【咸興】咸南道體育振興會では世界に類のない獨創的な海軍體操をもつて二百萬道民の體位向上を期することになり、目下同會で研究中であるが、まづ普通より實施一般に普及せしめる

國語全解競技大會

【清州】皇國化は國語からと沃川郡青城面國民學校では〝全解競技大會〟を開催常用に獻身的報國が勢揃ひして全鮮嚆矢の〝全解競技大會〟を擧つた

この大會は總力運動として現に展開されてゐる國語普及運動がどの水準まで習得されてゐるかを試しその結果に深い省察を加へ一層強力な普及運動を展開せんとするものである

鑛炭山へ慰問劇團

【咸興】農山漁村ならびに鑛炭山の增產戰士に移動劇團を派遣して慰問……咸南道では朝鮮文化協會演劇隊を招聘して道內各生產場面を訪問し移動開演することになつたが、期間は三日から來月九日まで

平壤名物さよなら

【平壤】觀光都市平壤阪町遊廓の王座を占めてゐる平壤名物の一つ『美人樓』も目まぐるしい時代の流れに添ひ卅年の永い歷史を殘していよ〳〵廢業することになつた

愛の赤道 (228)

竹田敏彦作 都竹伸一畫

南の風雪(七)

國防營養學大講演會

日時 十月七日(水)午後七時
會場 遞信事業會館
講師 櫻澤如一先生
入場無料
主催 京城日報社
後援 國民總力朝鮮聯盟 京城府聯盟

【毎日刊行】 皇紀二千六百二年 昭和十七年十月三日 (土曜日) 京城日報 (市内版)

夕刊 京城日報

心せよ、敵はかく眞劍

實物大の東京市模型

テキサス平原で爆撃演習

【東京電話】九月三十日から一日にかけて關東一圓および東北地方の一部に警戒警報が發せられ、これらの地區は一糸亂れざる警戒陣を布き敵機をして一機もわが本土に近づけしめず、警戒は一日午後解除された、しかし國民の一部は今回の警報をもつて國民の緊張を促す手段なるかの如き觀念を抱くものあるやに見受けられたところもあるが、これは認識不足も甚だしきもので、今回の警報は二十九日夜太平洋上に敵機數機を認めその結果發せられたものである、去る九月一日陸軍省の發表した國土防衛に關する國民への覺悟要綱にも明かなるやうに、敗戰のどん底から起ち上りつゝある敵國アメリカは、わが本土空襲を眞劍に企圖してゐるのである、諸種の情報を綜合するにアメリカは航空母艦の大擴建造に、超長距離爆撃機、超大型新銳機の新製作に狂奔し、またテキサス平原の一角に實物大の東京市の模型を製作して爆撃演習を試みた事實さへあるのである

爆撃目標入り

東京空襲要圖も準備

さらに最近入手せるアメリカの週刊寫眞雜誌『ライフ』四月廿九日號には爆撃の目標を示した東京市の要圖が三葉掲載されてゐるが、これを一見する時いかに彼等がわが首都東京を詳細に調査研究してゐるかが注目されるのである、そのなかの一葉は全都の火災建築物區域、道路に面した部分だけ耐火建築物の地區、同半耐火建築物の地區にて示しつぎの一葉は軍需施設その他の重要工場、重要軍需施設物の一部を示し、さらにも一枚は二ポンド六十八箇を含む爆彈及び四ポンド三十四箇二つ宛…む燒夷彈裝を全東京市に大…をもつてバラ撒き全市を怨ち…と化せんとする計畫圖である

米誌に掲載された東京空襲要圖の一葉＝軍事施設および工場所在地要圖

小倉侍從、阿吾地へ

【羅津電話】畏き邊りより御差遣の小倉侍從は、一日羅津に…前八時五分羅津發列車…官民多數の見送りを受け…地に向つた

總督、咸興を視察

【咸興にて井上特派員】北鮮視察に向つた小磯總督は二日午前十時卅分咸興驛着途中…迎まで出への道具咸南知事の案内で大野秘書官以下を随へて咸興驛着、直ちに咸興神社に參拜、次いで咸興地方法院を視察、同十一時卅分道廳に入り、知事室で道職員を接見、管内狀況を聽取した後、約廿分間に亘り職員に訓示を行ひ晝食後記者團と會見したが、午後は鐵道局・稅務監督局を視察して興南の各工場を視察、午後六時五十分松月ホテルに入つた

躍進北鮮五年ぶり

小磯總督、咸興で語る

【咸興にて井上特派員】北鮮地方を視察中の小磯總督は二日午前十一時五十分道廳應接室で記者團と會見北鮮視察の感想、咸興、興南合併問題等につき左の如く語つた

五年振りに來たが北鮮地方は躍進振りだ、咸興の街なんかも非常に活氣があつて躍進の底力が感ぜられる、朝鮮全體の行政簡素化は豫定より少し遲くれて十月以後になるであらう、行政簡素化によつてお隣りの咸南府制實施問題がお流れになつたがやむを得ぬことだ、この際寧ろ咸興との合併問題がより具體化するのではないかと思はれるが、總督府としても而地の實情に即應して十分研究を進めてをり、…の希望に應へて總督府の認識…りだ、要するに地元の熱と希望的要望とが合併問題を解決する最後の鍵だと思ふ、旱害對策に就ては本道も萬全の對策を講じてゐるやうであるがどうしたわけかまだ對策が出來てゐないやうだね、沿線で見ると植付が出來なくて原ツパになつてゐるところが隨分ある、これはとりも直さず農民達の認識不足の結果でおいおい諸君の力によつて農民の認識を大いに改めて貰ひたい

總督府辭令（一日附）

- 司政局長 鈴川壽男
- 財務局長 水田直昌
- 殖産局長 上瀧基
- 企畫部長 鹽田正洪
- 事務官 碓井忠平
- 同 信原聖
- 同 奥村重正
- 同 西田豐彦
- 技師 田中重郎
- 正六位勳六等 池尾芳藏

朝鮮臨時電力調査委員被仰付

- 從四位勳三等 藤井崇治
- 從七位 久保田豐
- 從六位 小倉武之助
- 正四位勳三等 谷多喜磨
- 從五位勳四等 池邊龍一
- 從四位勳五等 武者錬三
- 正四位勳三等 今井賴次郎
- 正四位勳三等 笹川恭三郎
- 松原純一
- 林繁藏

陣容全く成る

朝鮮臨時電力調査委員會

…業の基礎部門たる朝鮮電力の第二次統制については總督府において準備進行中であるが、…中であつた朝鮮臨時電力調査委員會官制が一日附公布をみ田中政務總監を會長とし、内總督府九名、内地二名、鮮内各電力會社々長七名、銀行代表二名からなる廿名の構成委員の任命を終り、こゝに電力統制再出發の前提を完了することとなつた、かくて本廿日ごろ第一回委員會を開催し統制諸案を上程、具體的審議を開始し、官民協力の最終統制大綱を決定、これを通じて半島電力事業を再編成されるのである、なほ内地側二委員は日本發送電池尾總裁と元電氣廳長官賴井氏である

故北島少將

中將に進級

【東京電話】東部軍司令部參謀長北島卓美少將は、去月廿九日午後一時三十分戰病のため逝去、一日後任として辰巳榮一少將が任命されたが、右に關し二日陸軍省からつぎの如く北島少將の中將進級が發表された

陸軍省發表（十月二日）

今般左の通り發令せられたり

任陸軍中將 陸軍少將 北島卓美

葬儀

なほ北島中將の葬儀は來る三日午前一時東部軍司令部葬をもつて佛式により青山齋場において執行、同二時より三時まで一般告別式が行はれることゝなつた

青木國務相

汪主席と懇談

【南京二日同盟】青木國務相は、二日午前九時宿舍首都飯店において國民政府財政部長周佛海氏の來訪を受け約一時間にわたり懇談したのち、同十時公館に汪主席を訪問、國民政府最高經濟顧問就任の挨拶をなし、大東亞財政經濟方針をはじめ日華兩國の財政經濟關係の緊密化に關し時餘に亘つて重要意見の交換を遂げ十一時半辭去一旦宿舍に歸り正午再び主席公館を訪問、汪主席の招待午餐會に臨み午餐をともにしつゝ懇談を重ねた

獨、ス市爆撃千五百回

十萬二千餘人 英市民の死傷

獨機の爆撃による損害

英内相發表

【リスボン一日同盟】モスコー情報によればスターリングラードに對する獨空軍の爆撃は攻撃開始以來三十五日間に既に千五百回に達したと報ぜられ、獨軍の攻撃が如何に熾烈を極めつゝあるかを裏書してゐる

…死者四七、三〇五、負傷者五五、八五八、合計一〇三、一六三、うちロンドン市内の死傷は左の通り 死者二〇、一一〇、負傷者二六、〇七一、合計四六、一八一

敵船百六十一隻を撃沈す

獨軍九月中の通商破壞戰々果

…よれば、九月中の通商破壞戰の戰果は獨潛水艦による撃沈トン數は百廿六、七十六萬九千二百トン空軍による撃沈トン數は卅五隻、廿四萬二千五百トン總計百六十一隻百一萬一千七百トンに、達してゐる旨一日獨軍司令部の定例報告中に發表されたところに…

コーカサス

戰線緊張

【リスボン一日同盟】獨軍のスターリングラード攻略戰と併行して北コーカサス作戰も最近俄に進展を見せつゝあり、殊にモズドク、テリヨク河方面の戰線においては戰局は極めて重大化するに至つた、モスコー放送はこの方面の戰鬪の熾烈さを強調するとともに獨軍が續々新鋭を增派し、赤軍を壓迫中と報じ赤軍もこれに對し頑強なる抵抗を續けてゐる旨傳へてゐる一方、コーカサス山岳地帶から黑海沿岸方面に向つてゐる獨軍山岳部隊も最近急に活潑な活動を開始したもの\如く赤軍必死の阻止作戰にも拘らず、戰局は漸次獨軍に有利に展開してゐる

獨、山岳要塞

數ケ所奪取

【ベルリン一日同盟】デーエヌベー通信の報ずるところによれば黑海沿岸ならびにテリヨク河南方のコーカサス戰線において獨軍部隊は激戰ののち卅日堅固なる防備を施した山岳要塞數ケ所を奪取した

事實上は握り潰し

亞國の對樞軸斷交案

英の石炭飢饉

下期 石炭對策決る

情報局、商工省から發表

【東京電話】時局下石炭增産の緊要性にかんがみ政府は本年度下半期における石炭增産を積極的に實施することになり、二日の定例閣議において十七年度下期石炭對策を附議、商相より詳細にわたつてこれが内容を說明決定した、右對策の内容は午後四時情報局および商工省よりそれぐ發表される

定例閣議

【東京電話】二日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開かれ、先づ商相より十七年度下期石炭對策に關する件を說明これを決定し、鈴木企畫院總裁より、各廳より民間諸會社に對する關係書類の提出を頻繁に求めるため會社事務の重複煩雜を來しつゝある現狀にかんがみこれが簡素化方法を企畫院にて研究中なる旨を報告、最後に賀屋藏相から昭和十七年の災害被害者に對する租稅の減免および徵收猶豫に關する件を說明決定し、同十一時五分散會した

岡田衆議院議長

畑總司令官と懇談

【南京一日同盟】三十日來寧した岡田衆議院議長は、一日午前十時總司令部に畑總司令官を訪問懇談を遂げ、午後は戰跡視察ののち同七時官邸における畑總司令官の招宴に臨んだ

獨空軍の至寶

飛行機事故で死去

【ベルリン一日同盟】ドイツ軍司令部は一日ドイツ空軍の至寶ハンス・ヨアヒムマルセイレ大尉が北阿において飛行機事故のため不慮の死を遂げた旨發表した

共産軍を籠絡

蔣、西北建設に躍起

【廣東一日同盟】重慶來電によれば、西北建設に狂奔してゐる蔣介石はさきに西北視察の途次西安において共産軍首腦部と會見、西北建設問題に關して共産軍側の底意を打診するとともに會談を遂げたが、蔣は重慶に歸還後西北の共産軍を買收するため最近馬玉祥を西北に派遣し朱德に對して中央軍と同一の待遇を與へる條件を提出共産軍の抱込み工作を積極的に圖つてゐるといはれる、また一方蔣は國防最高委員會秘書長兼西北駐防軍總司令に任命し西北における中央軍の強化を圖つたが、馬玉祥、賀耀祖はともに親ソ派の巨頭であり、蔣が今回これを起用したのは共産黨を籠絡し西北建設の…を取除くための工作と見られてゐる

印度騷擾續く

【リスボン同盟】ロイター通信ボ…

獨立達成を祈願

印度獨立聯盟比島支部

【マニラ二日同盟】印度獨立聯盟比島支部ではガンヂー翁誕生記念日の二日市内イサツク・ペラル街の印度寺院で大會を開き印度獨立達成の祈願を行つた、また同日市内印度人店舖は英國の印度壓迫に對する抗議のため一齊に休業した

暴動激化す

【リスボン一日同盟】ニューデリー來電によれば、印度民衆の反英暴動は依然熾烈を極め目下ガンヂー翁その他國民會議派領袖の監禁されてゐるプーナ（ボンベイ州）およびアラハバツド（聯合州）ビハール州など各地では引つづき暴動事件の發生を見てゐるが、殊にプーナでは民衆は警官の屯所および徵用列車などに放火するなどの暴擧に出で事態險惡化したため州當局は同市一帶に夜間外出禁止令を發した

ンベイ電が傳へる印度騷擾狀況左の通り

一、オリツサ州カタツクにおいて四千の群衆が暴動を起しイギリス將校ならびに數人の警官を傷けたゝめ警官隊は群衆に向つて發砲し八人の死者と三人の負傷者を出した

一、アーメダバツドにおいては暴徒の仕かけた三箇の爆彈が破裂して多數の負傷者を出した

時の録音

敵米艦隊を撃す太行山脈に、殘敵殲滅戰を展開。

×

早くも冬と戰ひ、肉彈戰と闘ふ大陸將兵の勞苦を想へ。

×

スターリン狩りに一線將兵を叱咤すれどもス市の運命愈よ迫る。

×

赤軍唯一の兵站路ボルガも完封され、どうやら兵糧攻めの形。

×

アルゼンチン、遂に光榮ある中立を放棄するか。

×

凡ては米の策動であり、謀略であり、壓迫だ。

×

だが上院は健在なり、切に亞國民の自重を祈り度い。

×

米系の策動、梨花女專遂に敵性を清算して、新發足。

×

今こそ、皇民教育に生きるのだ。

―人―

◇秋山三夫氏（東拓鑛業專務）二日〃あかつき〃で歸城

◇木原七郎氏（代議士）二日〃あかつき〃で入城

◇服部岱三氏（鮮銀理事）一日午後京城發北支へ出張

◇兒部謙氏（日水朝鮮支店長）二日平壤へ、五日頃歸城豫定

◇白石宗城氏（日窒京城支社長）一日東上

◇玉置正治氏（鴨綠江水電常務）二日夜京城發東上

◇早川元助氏（愛知縣海外協會滿洲開拓地事情視察團長）一行十九名、二日入城朝鮮旅館

戰時海運管理令施行規則けふ公布

朝鮮置籍船 國家管理を斷行

國策遂行に萬全期す

新貝遞信局長談

取入れに總力
寄留屆も忘れずに
"大詔奉戴日"の申合せ事項

秋の收穫に總力を發揮しませう、軍人の家を護りませう寄留屆を出しませう――と十月、八日大詔奉戴日の申合事項が決つた、この日は特に信號鐘で午前六時卅五分に行ひ深まりゆく收穫の秋に二千四百萬總力

いよ〳〵銃後奉公の決意を固める、申合事項次の通り

一、秋の收穫に總力を發揮しませう＝取り入れの時が近づいて農家は總出でいま懸命に働いてゐます私達都會の者は農民に感謝し、一粒の米も大切にしませう、また農村附近では進んで手傳ひをしませう

二、軍人の家を護りませう＝戰病死された軍人や軍屬の遺家族や出征勇士の留守宅を愛國班員で慰安し不自由のないやう心懸けませう

三、寄留屆を致しませう＝內鮮以外で九十日以上居住する者は十月十五日から十四日以內に屆けは出さなくてはいけません、いままでに屆けを出してゐる人でも出さねばいけません、屆出を怠れば過料に處せられ、物資の配給などに不便があるかも知れません

暴徒の包圍下 米六萬俵を死守
ブ博士の獻身的協力美談

【マニラ一日同盟】數千の暴徒に圍まれながら單身拳銃を擬してこれを威嚇し六萬俵の米を死守、戰後のマニラを食糧不安から救つたナリツク國立米穀會社々長ブエンカミノ博士の獻身的協力美談が十ケ月ぶりに明らかにされマニラ市民の感謝の的となつてゐる

皇軍の入城直前正月一、二日の兩日の出來事であつた、バタアンへ敗走する米軍の謀略によつて日本軍がマニラに突入の一日前市內の全倉庫を比島人に開放して日本軍には一握りの鹽も一粒の米も殘すなと嚴重な命令を發して立退いたこれを聞いた數千の暴徒たちは直ちに埠頭倉庫を襲撃して日用雜貨食料品など悉く荒し盡しますく暴を加へた暴徒たちはそのまゝ徒黨を組んで市內の倉庫を荒し廻り最後にナリツクの米穀倉庫を襲撃してこれを十重二十重に取卷いたナリツクの社長ブエンカミノ博士もかねて米軍から倉庫開放の言明をうけてはゐたが今ここでこの六萬俵の米を暴徒の手に渡してしまへば直ちにマニラの食糧飢饉を招くことになる、日本軍が入つて來るまで『この倉庫を死守しよう』と決意した博士は護身用の拳銃を取出すが早いか群る群衆を威嚇しつゝ倉庫入口に立ちはだかつて『さあこの倉庫に指一本でも觸れたら射殺する』と大音聲できめつけた、倉庫の周圍に何百台ものトラツクや牛車までも持出して不穩の形勢を示してゐた暴徒達も博士のこの權幕に恐れをなし一人去り二人去りしてその日の夜遲くまでにはほとんど三分の二の暴徒は歸つてしまつた

しかしまだ千名以上のものが殘つて夜通し倉庫を取圍み隙を見て博士に危害を加へんとする氣勢をさへ示した、しかしもうこの時には他のナリツクの社員たちも手に手に拳銃を掲げて駈つけて博士とともに暴徒に對抗制壓したので倉庫に手を觸れることさへ出來なかつた、明くれば二日日本軍が入つたとの風評が暴徒たちの口から口へ傳はつて狼狽した彼らはわれ先にとトラツクに分乘して逃げ去つてしまつた

かくして博士の捨身の澁法によつてナリツクの六萬俵の米は死守され皇軍入城と同時に軍に引渡されたが若しこの六萬俵の米が暴徒の手に渡されてゐたならば皇軍入城後のマニラは直ちに食糧飢饉に襲はれ不詳事續出して現在のやうな明朗マニラを建設することは出來なかつたたらうといはれてゐる

稔りの秋に朗報
黴米の豫防法を發見

【東京電話】稔りの秋に今回農家は今增產の総進軍をつゞけてゐるが、さて一粒の米も無駄に出來ない戰時下の米穀貯藏問題に大きな癌として近年學界から注目されてゐる黃變米（黴米）が『ちよつとした注意で防げる』ことがこのほど農林省米穀研究所の內藤技師によつて明かにされ收穫の秋を控へて全國農家や業者にその實施が呼びかけられてゐる

この黃變米は昭和十二年にはじめて內藤技師などによつて發見され貯藏中の米が黴の附着によつて痛められしかもそれが强い毒素を出してゐるばかりでなく繁殖率が高く、また肉眼では良質米と全く區別が出來ない始末の惡いもので爾來同技師の手でその豫防法が考究されるとともに東京帝大藥理學教室の浦口健二氏に委囑して毒素の動物反應を研究中であつたが、本年二月浦口氏はその中間報告として、『黃變米の毒素を抽出して二十日鼠に皮下注射すると三十分から三時間のうちに死んだ』結果を發表、その强毒性が實證されたが

一方內藤技師は貯藏米の水分が通常十四、五パーセントから十五パーセントであるのを十四パーセント程度に減少させれば黴の發生による黃變米の被害は胚芽および糠層のみで喰止められるのを發見したが、それには農家で米俵に詰める前に天日乾燥または火力乾燥することが最適であるとの結論をこのほど得るに至つたもので『全國農家は是非とも俵入れの乾燥をしてほしい』と同技師は語つてゐる

蘇るジヤワに感激の第一歩
鎌倉丸乘船の引揚邦人

【バタビヤ一日同盟】交換船鎌倉丸でオーストラリヤを引揚げ昭南で下船した邦人のうち戰前ジヤワに在留してゐた百十五名はバタビヤに到着日々に蘇るジヤワに感激の第一歩を印した

これら邦人のなかには前正金支店次席砥上朝雄氏などの顏も見えるが大部分は戰前ジヤワで小賣店物產商などを營んでゐた人人およびその妻子で、第二の故鄕ジヤワがいま皇軍の手に歸してゐるのを目のあたり見て感激に目をうるませ、各々その職域に於て新生ジヤワの建設に挺身せんと誓つてゐる

"勇士の家"を護れ
京畿道の行事決る
あすから軍人援護強化運動

軍人援護強化運動は三日から八日まで全國一齊に行はれるが、この日京畿道軍人援護會支部では次の諸行事を行ふことになつた

▲勅語奉讀式擧行＝三日午前九時道廳第一會議室で全職員參集の上軍人援護に關する勅語奉讀式を擧行

▲時局講演ならびに映畫會＝五日午後二時から第一會議室で時局講演會を開催するほかニュース文化映畫などを上映する

▲軍事功勞者表彰式擧行＝六日午前十時半第一會議室で軍事功勞者表彰式を擧行、軍人援護會朝鮮本部よりの軍人援護功勞者表彰狀傳達式を兼ね銃後後援善行者および三人以上應召家庭をそれ〴〵表彰す

▲その他軍人援護會道支部分會、總力聯盟など共同主催のもとに各府郡で講演映畫會を催すほかポスター、標語等などを利用して同運動の徹底を期する

模範遺家族等を表彰

京畿道では三日午前十時半から府民館中講堂で軍人援護に關する勅語奉讀、訓辭を行つたのち三人以上應召者を出した家庭、模範遺家族、模範傷痍軍人、應召軍人家族などに對する表彰式を擧行する

傷痍軍人や遺家族を招待

朝鮮軍司令部では

『軍人援護強化週間』初日の三日午後四時から軍司令部で軍人援護會總務次官長など六名ならびに傷痍軍人小畑貫次郞大尉を招待、茶菓を共にして『感謝の會』を催す

軍人援護強化運動
總督府では勅語奉讀式
あす第一日

軍人援護強化運動は三日から全國一齊に開始されるが、この日總督府では午前十時から勅語奉讀式を正廳玄關前に擧行、國民總力について田中政務總監が軍人援護に賜りたる勅語を奉讀、宮本法務局長の先導で皇國臣民の誓詞を奉誦、政務總監の發聲で〔天皇陛下萬歲〕三唱して閉式する

在京學徒へ親心
總督府側と懇談
東京各大學職員視察團

皇民半島の實相把握に來城した東京各大學職員視察團は京畿高女、仁川港灣などを見學、二日は午前十時から總督府第三會議室に學務當局との間の懇談會に出席、總督府から本田學務課長、古川保安課長、學務局高橋視學官、原口事務官、奨學會から中島教學官らが臨席のうへ、聖戰下實施される半島の徵兵制を前に內地に學ぶ半島學生の資質錬成に對して隔意なき意見を交換、さらにこれら學生をめぐつて內鮮を一貫する連絡の事案を協議、深い關心を示した【寫眞＝懇談會】

"必ず立派な收穫を……"
機甲化充實に 陸軍見學團出發

北方共榮圈の據點として北邊の護りに重大使命を擔つて起つ半島青少年たちに機械化國防思想を叩き込み、優秀なる技術的訓練を積ませて立派な機甲戰士として國防の任務を果させる のには先づ その指導に當る教職員から練り上ぐべきだと機械化國防協會朝鮮本部では鮮內大學、專門、中等學校教職員たちによる內地機甲關係の諸學校見學團を組織して二日午前零時五十五分京城驛發のぞみで內地に向つた、驛頭には藤井京畿道學務課長、機械化國防朝鮮本部佐藤企畫課長、山本總務課長ほか官民多數の見送りがあつたが、團長水原高農校長元村義得氏以下廿八名の一行は出發に當り交々次のやうに語つた【寫眞＝驛頭の一行】

きつと立派な收穫をもつて半島青年層の機甲化運動に貢獻したい覺悟です、何分十日間に出來るだけ多くを見るといふのですから相當忙しい旅ではあり來すが必ず細期の目的を果したいと思ひます

故駒田兵長の英靈の凱旋

【木浦電話】シンガポール攻略戰に非凡なる奮戰上陸を敢行、名譽の戰死を遂げて二階級進級の榮譽に輝く木浦府常盤町出身故駒田明藏兵長の遺骨は原隊に於る慰靈祭を終へて來る十日木浦に無言の凱旋をするが木浦府では盛大な府葬を執行すべく準備の歸還を待つてゐる

秋に鍛へる體錬會

▲京城梨花高等女學校では三日午前八時から同校庭で秋の體錬會を開催するが特に三日からはじまる『軍人援護強調週間』に應へて正午から白衣勇士五十名を招待して慰ろに慰めることになつた

▲京城商業實踐學校の秋季體錬大會は四日午前八時から同校庭で

けふの市況
株式 氣乘薄く閑散

前場 刺戟材料乏しく新東百廿九円前後となり、朝新廿八円前後、新鐘九十五円前後、高周波四十九円前後と寄付き、あと場面至極閑散であつた

後場（保合）引續き詰め商內があるのみで薄であつた、寄付き新東百廿九円五十錢、新鐘九十五円と變らず

現株仲値

三國志 (921)
吉川英治（作）矢野橋村（繪）